

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	オレンジスクール小岩第2教室					公表日	2026年3月31日		
						利用児童数	2026年3月9日現在41名（兄弟含む）	回収数	29(一世帯1通配布) 70.7%
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26		1	3	・入所の際に見たきりなので、たまに見られる機会はまだ体験見学あるいはモニタリングの際に限られておりました。指導室がどのようになっているのかご覧いただける機会を検討したいと思います。	・保護者の皆様が実際に指導室を目にされる機会はこれまで体験見学あるいはモニタリングの際に限られておりました。指導室がどのようになっているのかご覧いただける機会を検討したいと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27			2		・職員配置は1日に4名から5名で、法令を遵守した配置数となっております。また専門性を備えております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1		3		・教室のタイムスケジュール等の掲示物や玩具などの配置など、分かりやすいように工夫しております。掲示物を新しくする際など、お様が情報を把握しやすいように引き続き工夫してまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	26	1		2	・座る場所によって寒すぎる 경우가あつたようです。	・配慮が行き届かないところがあり、申し訳ございませんでした。空調のあたりやすい席はありますが、固定席でなく自由席にしており、お様が好みの席を座れるようにしています。療育中も児童のみなさんが過ごしやすいように換気および空調の設定を細かく変更しておりますが、今後もより一層の配慮をしてまいります。 ・療育前後での清掃、消毒を毎回行っております。また、利用児童のみなさんが落ち着いて過ごせるように靴を脱いで過ごせるマットスペース、目線を避ける仕切りのあるクールダウンスペースがあります。	
適 切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28			1	・型に沿った支援ではなく、子供の個性を認め、興味を持った事を通して学びや苦手な事にも楽しみながら取り組めるように深く考えてくださっています。子供も自分の好きな事を一緒に楽しんでくれる先生やお友達に信頼を寄せており、関わりの中で前向きな変化がたくさんあります。学校での出来事や様子についても共有頂き、サポートに反映くださっています。子育て相談にも親身に応じてくださり、アドバイスに救われております（項目5から10にかけて）。	・日頃よりご利用された日の様子を記したサービス提供記録にコメントをいただいたり、LINEや電話、送迎時に近況を共有いただいております。療育前のミーティングや定例会議で職員間で共有し、そうした情報と来所されたお子様のその日の様子に合わせて、学習時間や学習量、遊びの活動内容、休憩などをご本人と相談しながら過ごせるようにしています。 ・お子様の様子に限らず、子育てやご家庭での関わり方、進学に向けたお悩みなど、いつでもご相談いただけることを改めて周知し、保護者様への支援に努めてまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28			1		・年齢、進級、さらには進学といったお子様の様々な段階に応じて課題やニーズが変化していきます。今後も保護者様とお子様の状況を共有する中でニーズを捉え、お子様の教室での実際の様子に即した個別支援計画を作成していけるように努めてまいります。	

切 な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			2	<ul style="list-style-type: none"> ・「本人支援」、「移行支援」、「家族支援」と個別支援計画に記載した上で、具体的な達成目標を設定しておりますが、特に「移行支援」など、進級、進学においてどのようなスキルや振る舞い、考え方が大切になってくるかを個別支援計画面談にて説明してまいります。 ・6ヶ月に1回実施される個別支援計画面談で、保護者様からいただける学校やご家庭の様子などから、支援内容の検討をしています。今後も放課後等デイサービスガイドラインに沿って各ご利用児童に合った支援内容を設定していけるように努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28			1	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	3		4	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習、アナログゲームを通じたソーシャルスキルトレーニングを支援の軸に据えています。現在創作活動の拡充を図っておりますが、創作に限らず、引き続き活動の幅を広げてまいります。なお、進級・進学等により来所時間のばらつきが大きくなり、集団支援プログラムの実施を見合わせておりますが、ご利用者様の現状に合う形で再開したいと考えております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	12	8	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣に施設がないので、仕方ないと思う。子供達の特性的にも難しいので。 ・ご利用者様のニーズにあった対応を考えていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29				
保 護 者 へ の 説 明 等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28			1	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	4	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のニーズに即して研修会や情報提供の機会ができる場の検討をしていきたいと思っております。 ・ペアレント・トレーニングなどのプログラムはございませんが、ご相談いただいた際には、電話などでお話を伺ったり、家族支援面談の実施や情報提供をさせていただいております。今後も随時、お困り事がありましたらご相談いただければと思っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28			1	<ul style="list-style-type: none"> ・電話、LINE、送迎時にお話しいただくことでお子様の様子を共有いただいております。また、ご利用時の様子をその日のうちにサービス提供記録(Web、アプリ)で写真を交えてご覧いただけるようにしております。今後も細やかなやりとりを通してお子様への共通理解を築いていけるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28			1	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもありがたい事だと思います。たすかります。 ・6ヶ月に1度、児童発達支援管理責任者が保護者様とそれまでの半年のお子様の様子と今後の支援についてお話をする個別支援計画面談がございます。その他にも、お電話、LINE、また必要に応じて家族支援面談を実施しております。いつでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1			<ul style="list-style-type: none"> ・年齢、学年が上ってきたことで、これまでご家庭で見られなかったお子様に対するお悩みが増えてきていると存じます。教室でのお子様の様子や共有いただくお話しから考えられる発達の段階等をお伝えしつつ、保護者様の直面しているお悩みに真摯に耳を傾けてまいります。また、お子様と保護者様のそれぞれの状況を踏まえて支援できるよう、今後も職員一同研鑽を重ねてまいります。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	16	5	・現状でよいです。	・保護者様からの様々なご意見をいただいております。研修会や保護者会など、ニーズに合った形で検討していきたいと思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		2		・ご契約の際に、ご相談いただける体制の整備がされている等の説明を行っております。今後は改めて、相談や申し入れに関する対応につきまして、お便り等で周知したいと考えております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27		1	1		・体験見学の際に災害時対応マニュアル（地震、台風、大雨、大雪）についてご説明させていただいております。小岩第2教室のブログや個別支援計画面談などを通じて周知とご説明をしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27			2		・職員が行う図上訓練の他、年に2回（2日）、ご利用児童も含めた避難訓練を行っております。小岩第2教室のブログにその時の様子を記事にしています。今後も関連記事を更新した際に周知してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25			4		・怪我が生じた際など、保護者様にお伝えしております。事故や怪我が生じないようにお子様が安全に過ごせるように療育につとめてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29				・先生方にいつも甘えさせていただき本人も安心しています。 ・いつもありがとうございます。 ・いつも親の方も親身にご支援くださりお世話になっております。子供の様子が全てを語っていると思います。安心出来る環境で学び笑顔で帰宅し、次回参加を楽しみにしています。心の拠所になって頂きありがとうございます。	・お子様が安心できるように職員それぞれがお子様の気持ちの理解を深めながら、お子様の気持ちを穏やかにできるような関わりを日々努めております。お子様が様々な活動に参加するための土台となる安心感の醸成に今後も努めてまいります。 ・保護者様が安心してお子様を送り出していいただけるように、保護者様への支援を努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	3	1	1	・いつも楽しみにしています。 ・とてもたのしみしています。	・お子様の興味・関心のあることに常にアンテナを向けて、ニーズを把握し、活動に取り入れていくことで、活動内容の拡充・充実やお子様同士の関係性や支援を常に見直し、どのお子様も通所することが楽しくなるように改善してまいります。

	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1		<ul style="list-style-type: none"> ・娘にいつもよりそっていただき親子共々支えていただいています。 ・何度か息子に合ったレベルの学習プリントにしていきたいとお願いましたが、叶えて頂けず残念でした。(息子がプリントが簡単すぎると申しておりました)できれば少し難しい内容にチャレンジし、それが出来た時の達成感や出来なかった時の心の持ちようを学ばせて欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用いただいておりますお子様、その保護者様に寄り添えるように今後も丁寧に関わってまいります。 ・教材につきましてはご相談いただいた後に変更させていただきましたが、ご利用日数の関係や持参物への取り組みが中心であるなど、教室で用意したプリントの進捗にはらつきがございます。今後もご要望に答えられるように、またお子様の学習時の様子、学習の進捗に合わせて学習プリントの用意をしてまいります。
--	----	------------------	----	---	--	---	--

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和8年1月10日～令和8年2月16日

公表：令和8年3月31日

		事業所名		オレンジスクール 小岩第2教室		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導室内のマットスペースは靴を脱いで活動ができることもあり、児童が集まって活動しやすい場所です。児童の快適さと安全を確保できるよう、児童の人数を考慮して遊びの展開と指導員の配置を考えています。	法令を遵守しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法令を遵守しております。	法令を遵守しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		学習する場所、遊びの活動ができる場所に区分し、室内に活動の時間や注意書きなどの掲示物をしてあります。それらに加えて活動時間の事前の声掛けも行っています。	適宜、児童のわかりやすいように掲示や配置を変更したり、声掛けの伝え方を工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎回療育前後に清掃と消毒を行っております。療育中、常に換気を行い、児童に水分補給を促しています。	今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		疲れた際に横になって休めるクールダウンスペースを用意しています。また、使用の相談があった際には必要に応じて相談室もご利用いただけます。	今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		常勤職員の社員会議、非常勤職員を交えた支援会議を毎月実施しています。	会議において業務の進捗状況や改善が必要な事柄の共有、検討をしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご家庭に事業所アンケートへの協力をいただき、業務改善に取り組んでいます。また、モニタリングの際に伺った内容を共有して児童との直接支援に反映しています。	アンケート実施の際は多くのご意見をいただけるようお願い等でお知らせします。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常勤職員の社員会議、非常勤職員を交えた支援会議を毎月実施しています。日々職員間で意見交換を行い、業務改善につなげています。	会議において業務の進捗状況や改善が必要な事柄の共有、検討をしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価機関などの評価は実施しておりません。	必要に応じて検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		入職後の初任者研修、発達障害基礎講座1・11の受講をはじめ、毎年度法定研修の実施および受講しております。	発達障害学習支援サポーターの研修受講と資格取得を目指します。またその機会を確保しています。今後も継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		オレンジスクールホームページの小岩第2教室ページにて2024年12月18日に公開しております。	今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の活動報告やご家庭とのご連絡内容等をふまえ、モニタリング・個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援者会議を行い、ご利用児童の様子について支援に携わる職員で意見を交わし、個別支援計画に反映しています。	今後も継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		療育前のミーティングの際に各児童の個別支援計画項目に触れて前回ご利用の際の様子を共有することで、計画に沿った支援に繋がっています。	今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査の結果や児童の普段の様子と合わせてアセスメントを行い確認しています。	今後も継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画書にはガイドラインに準じた項目を設定しております。また、ご利用者児童の日頃の様子や個別の状況に応じた支援内容を設定しています。	ご利用者様の進級、進学が増加しているため、移行に向けたニーズの把握と適切な移行支援の目標設定が行えるように研鑽を重ねていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		教材準備担当指導員が中心となり、モニタリング前後で教材の見直しや変更、また随時児童発達支援管理責任者と相談の教材を用意しています。創作活動など、職員間で相談の上、立案しています。	今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	学習プログラムは、毎回個々のニーズに合わせて課題を準備しています。遊びの活動では、ペーパークラフト、折り紙での壁面装飾作り、糸や毛糸などを用いた工作を始めるなどプログラム拡充を行っています。	創作活動の他、SSTの土台となる遊びの内容を徐々に拡充できるようにしてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の意向や課題をふまえ活動内容等を検討した上で個別支援計画を作成しています。	現在、集団支援プログラムは長期休業期間のみ行っております。ご利用者様の進級やそれに伴う来所時間の変化なども踏まえて、現状に即した形で再開を検討してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の療育前のミーティングで情緒面のサポートとその日の療育全体の流れを職員間で確認しています。各児童の個別支援計画に触れ、前回の様子を振り返ったり、保護者からの連絡を共有しています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	支援終了後に、児童の気になる様子や言動などがあった際には必ず口頭で共有した後、記録に残して翌日のミーティングで共有しています。	今後も継続していきます。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和8年1月10日～令和8年2月16日
公表：令和8年3月31日

		事業所名		オレンジスクール 小岩第2教室	
チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点	改善策
関係機関や保護者との連携	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		療育後に児童のその日の様子を写真と共にサービス提供記録に記し、当日のうちにHUGを通して保護者様が確認いただけるようにしています。その内容をもとに、次回以降の支援内容の検討を行っています。	今後も継続していきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1回モニタリングを実施しております。児童やご家庭の意向、現状に応じて個別支援計画の見直しを行っています。	今後も継続していきます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		児童の意思を尊重する場面を作りながら、小集団での活動や個別の学習支援、創作活動や余暇活動を提供しています。	今後の継続とともに、こどもが主体的に参画できる活動内容の充実に努めてまいります。地域交流の活動に関しては検討を続けていきます。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		その日の学習計画を児童のその日の調子や持参物、来所時間などを考慮して児童と相談・決定しています。遊びの活動においても、何をしたいのか児童の気持ちを整理しながら選択できるように支援しています。	今後も継続していきます。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。今年度も参加しております。	今後も継続していきます。
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を行っています。今年度も参加しております。	今後も継続していきます。	
28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて連携を行っています。また、ご家庭のご要望により関係機関連携を実施しました。	今後も児童の状況やご家庭のご要望に応じて、学校との直接の連絡・連携を提案するなど、継続していきます。	
29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		今後、必要に応じて連携を図っていきます。	
30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		当該の児童がいらっしゃいませんでした。	
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後、研修に参加したいと考えています。	
32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		実施しておりません。	
33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		参加しておりません。	
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			HUGを活用し、支援終了後、その日のご利用児童の様子を写真を交えてお伝えしています。また、電話、LINE、サービス提供記録のコメントや面談を通じて児童の状況について共有させていただいております。	HUGでの閲覧をされていない保護者様に改めて閲覧方法の説明等をして、当日に児童の様子を把握していただくようにします。他、いつでもご相談いただける旨を保護者様に周知し、相談しやすい環境を整えてまいります。
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		プログラムの実施はございませんが、ご家庭からご相談いただいたお困り事等に対して助言、提案をさせていただき、必要に応じて面談を実施しています。	ニーズを探りながら研修や情報提供の機会を検討していきます。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際に運営規定、支援プログラム、利用者負担などを適宜ご説明しています。また、変更時にはお便り等でお知らせしています。ご不明な点があった際には、その都度対応させていただいております。	今後も継続していきます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご契約の際とモニタリングの際に、ヒアリングや児童のご利用状況を踏まえて作成した個別支援計画の説明と支援方針、個別の目標設定の確認を、保護者様や児童本人に確認しております。	児童と保護者の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮を念頭に今後も継続していきます。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		作成した個別支援計画は必ず保護者様への説明と確認を経て同意を得ています。	今後も継続していきます。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その日のサービス提供記録にコメントをいただいたり、面談時やお困り事が生じた際にご相談いただいております。また、ご希望や必要に応じて家族支援面談や学校など関係機関連携なども行っています。	今後も継続するとともに、のご利用者様も気兼ねなくご相談いただけるようにご相談方法を周知していきます。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		実施しておりません。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご契約の際にご説明しています。また、相談室内に事業所内での相談方法や福祉サービスの相談先の掲示をしております。	今後も継続していきます。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		オレンジスクール小岩第2教室のブログを毎月更新しております。	ホームページやブログの周知を定期的に行ってまいります。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

実施日：令和8年1月10日～令和8年2月16日

公表：令和8年3月31日

事業所名

オレンジスクール 小岩第2教室

	チェック項目	事業所名		工夫していると思う点	改善策
		はい	いいえ		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ロッカー、書庫、事務室等、個人情報の保存場所には施錠を義務付け、徹底しております。教室内のパソコンに全てパスワードを設定し、セキュリティソフトを入れています。	今後も継続していきます。
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		筆談や気持ちカードを使用することで意思疎通の手段ややりとりを円滑にできるように工夫しています。ご家庭にはメールやLINE、紙面等でお伝えしています。	今後ご利用児童に合った方法を工夫し、継続していきます。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	事業所の行事を行っておりません。	ご家庭、ご利用児童のニーズを踏まえた上で、行事の開催等を検討していきます。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事業所内で各マニュアルを策定し、職員間で共有しています。	LINE等でお便りを通してご家庭への周知に努めてまいります。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、年に2回初夏と秋頃ご利用児童を含めた避難訓練を実施しています。	ご利用児童を含めた避難訓練の様子はブログで公開しております。訓練の実施とその際に様子を保護者様に周知していきます。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にてんかん・アレルギー確認票のご提出のご協力をいただいております。服薬状況やエビエンの所持やてんかん発作等の既往歴も確認して職員間で共有しております。	今後も継続していきます。
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ご家庭より情報をいただき、全職員に共有しています。	今後も継続していきます。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間の安全計画を策定し、計画に基づいて感染症対策や図上訓練、実際の避難訓練等を実施しており、ご利用児童の安全の確保に努めています。	今後も継続するとともに、安全計画の策定や内容の周知に努めてまいります。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を策定し、計画に基づいて研修を実施しています。	今後、安全計画に基づく取組内容の周知に努めてまいります。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例はその都度報告書を作成し、職員間で共有しています。	危険度の高い事例は特に会議で取り上げ、状況の把握や未然に防げるような視点を持てるようにしていきます。今後も継続していきます。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内でマニュアルを作成し、定期的に研修を行っています。また、入職した職員にも虐待防止研修を行っています。	今後も継続していきます。
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に関わる同意書を契約時に取り交わしており、その際に説明し了承を得ています。また、身体拘束を行う必要がある状況をつくらぬよう、環境設定や課題調整をし、適切な関わり方を行っています。	やむを得ず身体拘束を行った場合は活動記録に記載いたします。引き続き、身体拘束を行うことがないよう支援方法の工夫を随時行っていきます。	

事業所における自己評価総括表

事業所名	オレンジスクール 小岩第2教室					
保護者評価実施期間	2026年	1	月	10	日	～ 2026年 2 月 16 日
保護者評価有効回答数	対象数	42	(1世帯に1つ)	家庭	・	回答数 29 家庭 (回収数29、有効回答29) 70.7%
従業者評価実施期間	2026年	1	月	10	日	～ 2026年 2 月 16 日
従業者評価有効回答数	対象数	6	名	・	回答数	6 名
事業者向け自己評価表作成日	2026年	3	月	7	日	

分析結果

	事業所の強み より強化・充実を図ることができる	工夫・意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家庭から児童の近況を共有いただいたり、保護者からのヒアリングを丁寧に行い、療育中の児童の様子と併せて個別支援計画に反映して実際の支援（療育）へと繋げていること	個別支援計画面談の他、児童のご家庭や学校での近況を、送迎時や電話、LINEなどで共有いただいております。療育前のミーティングで職員間で共有し、療育中の児童対応に活かしております。また、その様子は写真とサービス提供記録でその日のうちにご覧いただけるようにすることで、ご家庭との児童への共通理解の形成を図っています。	日々の療育でご利用児童により細やかに関わってまいります。Web・アプリから写真を添えたその日の様子の記録をご覧いただけることやお悩み事を気軽にご相談いただけるように周知します。また、療育の中で児童の気になる様子が見られた際には積極的にご家庭に連絡をしていきます。
2	児童の交友関係が深まり、同学年・異学年と縦横に交流が増え、児童が安心して過ごせる居場所となっている	児童同士と一緒に活動をする際の互いの考え方や意見の違い、相手に対する伝え方など、関係作りでつまづかないように児童それぞれの思いを汲みつつ、相手を受け入れ、相手に伝わるような関わり方を指導しています。仲良しといえる関係であっても、意見の相違や考え方の違いに焦点をあてて関係を再構築する経験を重ねられるように児童と関わっております。	異学年の児童との関わりに苦しさを感じるお子様や、成長する中で興味事に変化が生じて交友関係から一歩引いてしまったり、1人活動を中心に過ごされる方もいます。児童それぞれの興味・関心事を捉え、個別活動の拡充を通じてどのお子様もより過ごしやすいようにします。また個別活動・他児童との関わりを、お子様それぞれのペースやバランスを保って過ごせるように配慮してまいります。
3	工作・創作活動の拡大と充実	ペーパークラフトや毛糸を用いた工作、季節に応じた壁面装飾など、工作・創作活動の幅を広げています。様々な学年の興味や取り組みやすさを考慮しながら活動の種類を増やしています。	様々な種類の素材を用いた工作を実施したり、これまで実施した工作物を応用してバリエーションを増やすなど、幅と深さの両方を広げていきます。

	事業所の弱み 事業所の課題や改善点	課題の要因等	改善の取組や工夫が必要な点等
1	進級、進学などの児童のライフステージの変化に伴う保護者への支援	開所から満3年を迎え、ご利用いただいている児童の年齢（学年）が上がってまいりました。進級して高学年になり、あるいは進学される児童も増え、心身の成長や交友関係の変化に伴い、課題にも変化が見られています。児童が長ずるにつれて一人来所が増えるなど、それまで送迎の際などにお話されていた保護者様のお悩みを伺う機会が減少している傾向があります。	相談支援の周知を行います。児童の成長に伴うご家庭でのお困りごとや進学に関するお悩みを相談しやすい環境を整えていきます。また、お困り事がないかをご家庭に伺うなどアプローチをしていきます。
2	・児童が実際に過ごしている際の様子や指導室内をご家庭の方が見学する機会 ・保護者会や保護者向けの研修会の機会の設定	・指導室内を見学いただく機会が、体験見学やモニタリング面談の際など限定的でした。 ・保護者会など、保護者同士が交流する機会につきましてはご意見が様々であり、これまでは交流する機会や研修会を設けておりませんでした。	・指導室内や児童の過ごしている様子をご家庭の方が見学できる機会を検討してまいります。 ・児童との関わり方や児童理解に関することなど、ニーズを探りながら保護者が参加できる研修会などを検討してまいります。
3	現状に即した集団活動プログラムの展開	開所当初から行っていた集団支援プログラムですが、進級、進学による高学年化に伴う来所時間のばらつきや個別学習時間の増加により休止しております。現状に即した形で展開できるように考えております。	高学年や中学生の平日の来所時間が16時半を過ぎることもあり、個別の学習時間の確保を第一にしています。曜日ごとの年齢層を考慮するなど、これまで行ってきた集団支援プログラムのスリム化やプログラム内容の変更を再展開に向けて進めていきます。